

# イタリアンライグラス品種選定のポイント

## 1. 作付体系で選ぶ

○ 早播きトウモロコシ，早期水稲の前作には

極早生・極短期利用型

### サクラワセ

- 早春利用で最多収品種。
- 細茎で出穂茎が多く，乾物率が高いので，サイレージ・乾草調製に好適。
- 収穫後の残株・残根量が少なく，後作の耕起・播種作業や稲の活着への影響が少ない。

○ トウモロコシ，ソルガムの前作には

中晩生・短～長期利用型

### マンモスイタリアンB (ビリケン)

- 四倍体の中晩生品種で1～2回利用で極多収。
- 初期生育に優れ，再生力も極めて旺盛。
- 春播きでも出穂茎多く，秋作エンバクや飼料カブの後作としても好適。

○ ソルガム晩播の前作や草地での周年栽培には

晩生・中長期～周年利用型

### エース

- 再生力旺盛で，イタリアンライグラスの中で最も遅くまで利用できる多収品種。
- 耐暑性・越夏性が良好で，標高の高い地域では，2～3年利用が可能。
- 西南暖地の早播きで発生の多いもち病に強く，冠さび病にも極強。
- 耐寒性・耐雪性も強く積雪地帯でも安心して栽培できる。

## 2. 地域性で選ぶ

○ 寒冷・積雪地帯での栽培には

⇨ 耐雪性の強い

### エース

## 3. 播種期で選ぶ

○ 西南暖地での早播き(9月播)で

⇨ 耐病性の強い

### エース

いもち病・冠さび病の多発地帯には，

○ 春播きでの栽培，緑肥利用には

⇨ 春播きで出穂し多収な

### マンモスB (ビリケン)